

各会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組み実態を視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

まちづくり市民アンケート調査

会派 新政21

視察地 山形県新庄市・鮭川村

視察日 平成26年2月10・11日

山形県新庄市は、県の北東に位置し、最上川中流域の新庄盆地にあり、山形新幹線の終点地です。特筆に値する行事としては、国重要無形民俗文化財で、258年前から続く「新庄まつり」が全国的に有名です。今回は新庄市で市民ニーズの把握や施策の達成度を評価するため、毎年68項目にも及ぶアンケート調査を実施して、市民の暮らしの満足度、これからの暮らしの重要度について、5段階で評価された結果を集計し、平均点の高いものから順位をつけます。また、ニーズ度について

るので、今後の事業展開や改善検討の参考にしていく所でありませう。

ニーズ度の高い順位としては

①魅力ある雇用の場の確保

②流雪溝の整備充実

③空き地、空き家対策の充実：等々でした。

続いて近接地に位置し、当町と災害時相互応援協定を締結している鮭川村を視察しました。元木村長、矢口議長を初めとする大勢の方々から大歓迎をいただきました。また、きめ細かな新地域防災計画に基づいた説明をいただき、協定先としての安心感を強く持ちました。



新庄市役所

健康チャレンジ事業・健康マイレージ事業の取り組み

会派 伊新の会

民主党

視察地 静岡県熱海市・静岡県駿東郡長泉町

視察日 平成26年2月4・5日

熱海市の平均年齢53・9歳、市民の半数が60歳以上、1年間に180人

が生まれ、3倍以上の600人が亡くなっています。また、生活習慣病と結びつく「喫煙習慣」は男女とも高く、特に女性の喫煙率は県平均の2.8倍です。

心身ともに健康で住み慣れた地域で暮らすため、一人ひとりが自らの心身に対する健康意識を高め、

日常の健康管理の重要性について自覚し行動する必要があります。熱海市では、健康に関する4部門、健康管理部門・社会参加運動部門・学習部門・社会参加、運動部門の活動を実施して一定のポイントを貯め、健康と景品が手に入る健康チャレンジ制度を行っています。



長泉町健康づくりセンター内

長泉町では、健康マイレージ事業を実施。特色は、対象を20歳以上とし、ポイントの内容は、生活・運動・歯磨き・自然な排便・自治会活動・ボランティアなどを対象にしています。健康格差をなくす」ということを目標に、場所や時間にとらわれず町民の生活習慣の中で健康づくりを支援することが必要です。